

サポート
しています

健康企業
宣言

「健康」「絆」「幸福」の実現に向けて 電巧社に合った健康経営を実践

株式会社電巧社



企業トップの方は健康経営について どのように考えていますか？

先代社長は口癖で「健康はすべてじゃないけど健康をなくすとすべてをなくす」と言っており、今の社長も受け継いでいます。2015年に現役の部長が急に亡くなったことをきっかけに健康経営に舵を切りました。当社の経営理念は「全社員が人生の成功者になる」で、その前提として必要なのが「健康・絆・幸福」の実現です。この考え方を全社員が集まる「Annual staff meeting」などで発信しつづけています。



「健康企業宣言」「健康経営優良法人」 取得への取り組みを通じて感じたことは？

取得のために始めたことはなく、すでに取り組んでいたことを当てはめたら取得できました。野球部とRUNクラブがあり、部署を超えたコミュニケーションも生まれ、健康経営につながっています。「ブライト500」取得企業を調べてエントリーしてくれた学生が実際に入社することになり、ブライト500の効果を感じています。



実際の取り組みを教えてください

● サラダ・野菜ジュース会員の「ヘルシーメイト」

以前はサラダバーを用意していましたが、昨年は月1,000円で昼食前にサラダか野菜ジュースを毎日食べられる会員制サービス「ヘルシーメイト」を始めました。お弁当手配システムを利用して申込みや取りまとめを行い、個包装のサラダはコンビニに配達を、野菜ジュースはベンダーに補充をお願いしています。大阪と仙台の支社は月500円の「野菜ジュースメイト」に。社員にとっても好評です。

● 「2way communication sheet」を使った1 on 1

メンタル不調を予防するコミュニケーションツールとして、「2way communication sheet」を使って上司と対話する1 on 1を実施しています。業務目標や評価ではなく、家庭の事情や悩みなど「弱さ」を開示し、理解し助け合って仕事ができることを目指します。上司への研修やシートもブラッシュアップしています。

● 「ハラスメント研修」を内製化

以前は外部講師を招いていたハラスメント研修を内製化。事前アンケートをとり、社内事例をもとに、法的にハラスメントに当たるかどうかよりも相手が傷つくことはやめましょう、という勉強会に変えたところ、社員の真剣味が増しました。

健康企業宣言とは？

企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、一定の成果を上げた場合は「健康優良企業」として認定される制度です。

本社：東京都港区芝2-10-4
従業員数：236名（2021年6月時点）
事業内容：電気機械器具の販売・保守、受変電盤の設計・製造、空調・電気工事、ソフトウェア開発 ほか
設立：1928（昭和3）年



▲「Something red」のドレスコードで集まる「Annual staff meeting」



▲先代の言葉と認定証



▲2way Communication sheetを使った1 on 1



▲サラダを食べるヘルシーメイト会員



▲本気のハラスメント勉強会

● 健康管理システムを導入

電巧社では以前から40歳以上社員（短時間勤務者含む）の人間ドック費用を会社が全額負担しています。健診受診率は100%。導入した健康管理システムでは自分の健診結果を簡単に見られ、全社分析も可能になります。



今後の取り組みの予定は？

お取引先企業で大盛況だった歩数計アプリを使ったウォーキングイベントを当社も検討しています。私物のスマホを使うため、同意した社員には「通信手当」（月額1,000円）を支給します。また、会社のクレドに健康の項目を盛り込み、取り組む社員には「クレド手当」（月額2,000円）を支給します。

毎年恒例としている社屋屋上でのバーベキュー大会は、社員・家族・お取引先企業様との絆づくりとなる電巧社らしい健康経営イベントです。